

いのちを守る福祉・防災都市東京へ! 都政に憲法を!

都民がつくる革新都政

2013年12月15日 発行 = 革新都政をつくる会 発行人・中山 伸



総会で活動方針を提案する中山事務局長=2013年12月2日、千代田区・エデュカス東京

革新都政をつくる会2013年定期総会開く

猪瀬知事の巨額資金疑惑徹底究明! 都政転換へ許すな! 暴走安倍政権

革新都政をつくる会は、「2013年総会」を12月2日(月)、エデュカス東京に於いて開催しました。今次総会は、都政・国政の激動の情勢のなかで...

問われる 都知事の責任・資格

総会直前の11月22日猪瀬直樹知事が医療法人「徳洲会」グループから5000万円もの資金提供を受けて...

いつ都知事選があってもたかろう

総会では、新千明代表世話人(新婦人本部会長)、工藤芳弘代表世話人(都教組委員長)を議長団に、議事をすすめました。



亀山茂雄 (都生連)



若林義春 (共産党都委員会)



堤敬 (東京自治労連)



杉山文一 (年金者組合東京)



市川隆夫 (臨海都民連)



油原通江 (新婦人本部)



萩原純一 (新日本スポーツ都連盟)



佐久間徹 (日中友好都連)



木下雅英 (都教組)

2013年「役員」

- <代表世話人> 新 千明 (新日本婦人の会東京都本部・新婦人本部) 井手口行夫 (東京地方労働組合評議会・東京地評) 伊藤 潤一 (東京地方労働組合総連合・東京労連) 今井 晃 (東京民主医療機関連合会・東京民医連) 上原 譲 (東京商工団体連合会・東商連) 荻原 淳 (東京自治体労働組合総連合・東京自治労連) 亀山 茂雄 (東京都生活と健康を守る会連合会・都生連) 工藤 芳弘 (東京都教職員組合・都教組) 高橋 正志 (文化団体連絡会議・文団連) 寺下 章夫 (東京地方労働組合総連合民間部会・東京労連) 西川 龍平 (日本民主青年同盟東京都委員会・民青都委員会) 宮川 泰彦 (自由法曹団東京支部・自由法曹団東京) 若林 義春 (日本共産党東京都委員会・日本共産党都委員会) 中山 伸 (事務局長) 會澤 立示 (事務局長代理) <顧問> 畑田 重夫 三上 満 吉田 万三 小池 晃



総会報告は、吉田信夫都議(日本共産党都議団)がおこない、猪瀬都知事について提案を行いました。事の5000万円巨額資金提供疑惑をめぐって緊迫する都政について、現局面と今後の追完などの都議会と

都政の状況について報告しました。猪瀬知事は、政治的・道義的に知事を続けることができるかどうかにある。討論では、冒頭に日本共産党都委員会・若林義春委員長、続いて年金者組合・杉山文一、新婦人本部・油原通江、日中友好協会・佐久間徹、都教組・木下雅英、都生連・亀山茂雄、自治労連・堤敬、臨海都民連・市川隆夫、新日本スポーツ都連盟・萩原純一の各氏が発言し、情勢と方針、緊迫するたかしの課題について深めました。討論を受けて、中山事務局長が討論のまとめを行なった。新らしい変革の情勢の中でたかしの決意を述べ、団結力な情勢の下での総会となつた。

青い空

猪瀬直樹氏の目が泳いでいる。氏が都知事選出馬前、医療法人「徳洲会」グループから5千万円を受け取り、都庁記者に「知事を擁護する有識者が見当たらない。一度辞めて出直し選挙ということは頭に過ぎらないのか」と詰問された時のことだ。持ち前の傲岸不遜さと都政史上最多の433万票獲得という響をまとった面影はすでにない。グループは、都内に二つの病院・保健施設を持ち東京から補助金を受け「利害関係者」だ。当時副知事であった氏の行為は、職員であれば免職もある「都職員服務規律」違反に当たるとされる。氏を知事と仰ぐ職員はもはやいない。都職員を「都知事の権力」を説く有識者が、都知事の顔として政治家、経営者、外交官の三つを挙げている。氏には、五輪招致でイスラム文化を侮蔑し外交官の顔はすでにないが、政治家として経営者の顔もこれであつたことになり。さて、先の有識者は都政の巨大さと首都東京の影響力から都知事を「もうひとりの首相」とも呼んでいる。ワイマール憲法を生かしながら滅ぼしたナチスの手法が時代を覆ういま、今度こそ「都知事の権力」を社会進歩の歴史に役立てなければならぬ。なぜならその力は本来、主権者都民のものだからだ。(駒)

関東大震災から九〇年 東京は安全な都市に成長したのか

⑤

地震列島日本。最近、研 究で、日本で発生する地震 に「安定期」と「活性期」があることが知られてきた。90年前の関東大震災 は、その「活性期」の終わりの時期にあたり、その後、しばらくは大規模な地震に よる被害は発生しませんでした。1964年の東京オ リンピックは、まさにこの 時期に開催されたことにな ります。

ところが、20世紀後半に いたって、阪神淡路大震災 (1995年)、新潟県中 越地震(2004年)、そ

こうしたもので、国は違 えていた3・11東日本大震 災をふまえたあらたな首都 直下地震の被害想定(最終 的などりまとめを、本年 中に発表する)として作業を すめています。(東京都は 昨年4月発表)

このような地震活動の活 発な時期とそうでない時期 の現れは、プレート境界で 発生する地震に一定の周期 性があることに原因するも のです。

かえたものとなっていま す。この点では、今回の被害 想定発表を前に、地震・防 災の研究者が、「首都直下 地震M8・5想定、現行7・5では不十分」(毎日新 聞11月9日付)、「首都直 下M7・3被害300兆円、 防災会議専門委員試算、約 3倍に」(朝日新聞11月21 日付)など、国や東京都の 被害想定に、事実上の異議 を唱える内容の知見をあい ついで表明したことが注目 されます。

安全で持続可能な 都市づくりへの 転換を 発生すれば、世界のどの 都市よりも災害リスクのお おきな東京都。地震による 被害が巨大化する原因の一 つは、世界でも例を見ない 都市の過密性と土地の特性 (深さ数メートルに及ぶ堆積層と 軟弱地盤)にあることは明 確である。この「生命」と「生活」をまもるうえで、

安全で持続可能な 都市づくりへの 転換を 発生すれば、世界のどの 都市よりも災害リスクのお おきな東京都。地震による 被害が巨大化する原因の一 つは、世界でも例を見ない 都市の過密性と土地の特性 (深さ数メートルに及ぶ堆積層と 軟弱地盤)にあることは明 確である。この「生命」と「生活」をまもるうえで、

大都市固有の 課題

都心・業務機能集中地域	超高層ビル、帰宅困難者、首都機能
臨海・ゼロメートル地帯	津波、液状化、石油コンビナート、孤立
繁華街	大規模集客施設、地下街、雑居ビル、パニック、帰宅困難者
木造住宅密集地域	住宅倒壊、火災延焼、高齢者
周辺区・多摩地域	災害時要支援者、大規模集合住宅、立川断層
丘陵地	造成地、なだれ

新婦人

全国・都本部大会開催 学び運動したい 入会・読者ふえる

新婦人では11月2、3日 宣伝に飛び出し、声上げる 両大会では若い世代も活 に第26回全国大会、12月1 女性たちの姿に、平和憲法、 躍、「オリンピックより命 日に第31回都本部大会をお 人権、核廃絶、原発NOの が大事」の横断幕や憲法か こないました。大会へ向け 発信に賛同して、ともに学 るた、持って登場。チーム の仲間づくりでは班が主 び運動したいと入会や、し や運動などポップに表現し 役と、おしゃべりしながら ぶんぶん読者もふえていま す。美しい帯刺も好評でし ました。【新婦人本部 岡田尚子】



中田 保

(平和と憲法を語る大島の会)

三原山の斜面大崩落とい う思いもよらない災害に見 舞われた伊豆大島は、この 一カ月余、「笑顔の消えた 島」になってしまいました。 35名もの犠牲者を出した 上、4名の方が依然として 不明のままです。

地元の消防団を始めとし る大がかりな捜索活動がす ずめられました。並行して、 島内外から多くのボランティア が支援に駆けつけ、復 旧も着実に進んでいます。 島に住む私たちの仲間も活 動に参加して、家屋に流入 した土砂の除去や汚れた食 器の洗浄などをしていま



生業と生活の再建めざす を復興の基本に島民の心 ひとつにしてがんばる

す。ボランティア活動を支 援しようと、炊き出しに汗 を流す人もいます。 マスコミによる悪意に満 ちた町長非難の嵐の中で、 「川島町長と民主市政を支 えて、今できることを全力 でやろう」との共通の思い のもとに、力を合わせて奮 闘しているところです。 多くの島民の声は、「誰 一人として予測できなかった 災害で、町長や町職員を 責めることはできない。専 門家を含めた検証はあとで きちんとやればよい。今は 復興に向けて島民が一丸と なってがんばる時だ」とい

うものです。また、「現町 長でしか、この難局は乗り 越えられない」との声も大 多数です。 全国から寄せられた義援 金の配布がまもなく始ま り、仮設住宅の建設も年内 に開始される予定です。 表面上は少しずつ復興の 兆しが見える大島ですが、 島の将来を考えると、深刻 な課題が立ちわだかまっ ています。 一例を挙げると、Sさん という花卉農業を志す青年 がんばっていること、決意 を新たにしているところ

猪瀬知事の資金疑惑への 怒り渦まく中

第4回定例都議会開会日行動



「防災に名を借りた道路建設・品川区の都道補助 29号線ストップで街を守ろう」と訴える会の代表 =2013年12月2日、都議会開会日行動都庁前

11月29日(金)から20 13年度第4回定例会が始 まりました。(会期は12月 13日まで)猪瀬知事の医療 法人からの巨額資金疑惑。 都民の怒りが渦巻くなかで の定例会です。その一方で 猪瀬知事は、今次都議会に、 東京都は安倍政権が実施強 行を表明した消費税増税を 公共料金に転嫁する交通運 賃引き上げ条例案を提案し ます。厳しい生活の都民へ の安易な負担の押し付け は、許せません。疑惑の徹 底究明と知事の責任、都政 の在り方が問われます。 革新都政をつくる会は、 都連絡会、東京社保協、東 京地評の呼びかけで開会日 行動が行われました。 各団体代表が猪瀬資金疑 惑への怒りとともに「教室 の保証・発展を」「豊洲へ の新市場移転計画を中止に 追い込もう」「防災に名を 借った道路建設・品川区の 都道補助29号線ストップで 街を守ろう」「だれからも 歓迎され、都民のスポーツ 施策にも資する東京オリ ンピックの開催へ」と訴え、 切実な都民要求の実現を都 に要請しました。



都本部大会、若い世代舞台でのアピール=2013 年12月1日、千代田区・日本教育会館ホール